

STEP 1 投票に行かない人はなぜ、投票に行かないの？

政治への関心

- どうせ同じ勢力が当選する
- 政治に関心が無い
- 政治に興味ない
- 政治のことをよく知らないから
- 政治への関心(低)
- どうやって、投票すればよいか分からない
- 投票しても、何の意味があるか分からない

情報

- 何やっているか知らない
- いつ・どこでやっているかよく分からない
- 政治家が活動している姿を見ない
- 街頭演説や政見放送を聴く機会がない
- いつ行うのかが分からない

不満

- 選挙カーがうるさいから嫌悪感
- 公約とか長くて読もうと思わない
- 投票のメリットって？
- 大抵自分達当ての公約ない
- 公約の内容が今いち理解しにくい
- 全員信用できない

面倒くさい

- めんどくさいイメージ
- 投票に行くのが面倒くさい
- 行くのがめんどくさい
- 投票できる場所が少ない
- 投票所まで行くのが面倒
- 投票だけの為にその場所(投票場所)に行きたくない

- 政治に熱心=ヤバいやつ
- どうせ出る
- 一人だと恥ずかしい
- 初めて阿見に来た人が阿見がどんな町なのか分からない

STEP 2 投票に行く人、こうすれば増えるかも！？ 投票率向上のアイデア

- 阿見町から、投票所のボランティアを若者限定で募集する
- 投票所の役員を学生にする→友達来る
- 郵送方式
- ネット投票
- インターネット投票
- 投票所に行かなくてもスマホなどでいつでもどこでも投票できるようにする
- アプリ(公約が見れる投票ができる)
- ドライブスルー
- あみアウトレットに投票所設置
- 選挙用のポスト設置
- デコったりして投票所を楽しむ
- 2人(友達と)投票OKにする
- 議員を推しみたいにする
- キャラクターとコラボさせる→ステッカー配る
- 選挙することでのメリットを考え、紙媒体でまとめて、若者に配布する
- 大学の掲示板にポスターを貼る
- スーパーなど、人が多く行きかう場所に投票所を設置する
- 選挙行ったら商品券・割引券
- AKB総選挙のように選挙を壮大(&エンタメ)化する
- ティクトックやYouTubeで積極的に配信
- 初めて阿見に来た人(一人暮らしを始める人)に、阿見の魅力伝えるパンフレットを作って、阿見の関心を促す
- 小・中・高での政治についての理解を深める授業(長くない時間)
- 政見放送や街頭演説以外に、リーフレットなどの紙媒体で、やりたい政策を分かりやすくまとめて、配布
- 若者集めた政治系のフェス
- 若者が参加しやすいイベント
- 著名人とのコラボ
- 公約クリアボード

STEP 3 投票率向上の取り組み 班の提案

- 若者が参加しやすい環境づくり**
- ・若者が参加するイベント・フェス
 - ・公約クリアボード
 - ・投票所の役員を学生に
 - ・選挙行ったら商品券・割引券

- 投票のしやすさ**
- ・ドライブスルー
 - ・気軽に行けるようにする (スーパーデコる)
 - ・ネット投票

STEP 1 投票に行かない人は
なぜ、投票に行かないの？

絶対数の少なさ

20代の投票率を100%にしても人口比率的に70代、80代の方々におよばないから

情報収集不足

事前の情報収集が大変

←どの情報媒体から収集すると良いのか分からない

立候補する人知らない

投票内容について何もかも分からないから

選ぶほど良い人がいないから

内容について調べるのがめんどくさいから

めんどくさい

そもそも行くのがめんどくさいから

行くのがめんどくさいから

めんどく(現地に行くのが)

政治に関する興味がない

楽しくない

政治に興味がないから

目に見える「行くこと」のメリットがない

選挙で何か変わるわけでもないと思ってる

つまらない

スケジュールが合わない

忙しくて行けない

日程が合わない

他人事

選挙の重要性を分かっていない

選挙を一大イベントだと思っていない

他人事のように思っているから

政治に関する不満がない

投票を優先するほど重要だとは思っていないから

ネットでの投票

ネットで投票できない

STEP 2 投票に行く人、こうすれば増えるかも！？
投票率向上のアイデア

行った人は消費税軽減10%→5%

分かりやすいネット情報サイト

投票日に(会場で)音楽フェス♪

若者に人気のツールを使う(インスタ、TikTokなど)

ネット投票

行った人は住民税軽減

立候補者の情報をまとめたサイトの作成

選挙会場で特産品の販売

SNSの利用 政治家の情報収集プラスで日常を載せることで人と成りを知ってもらう。

ネットで投票する

行かない人は増税

選挙の重要性を有名な人にかたってもら

選挙会場で討論会をする

興味ができるようなポスターをつくる(面白いポスターなど)

ネット投票の開始

お金をあげる

お店での投票箱の設置

学校教育 道徳

学校で選挙セミナーをひらく

商品券配布

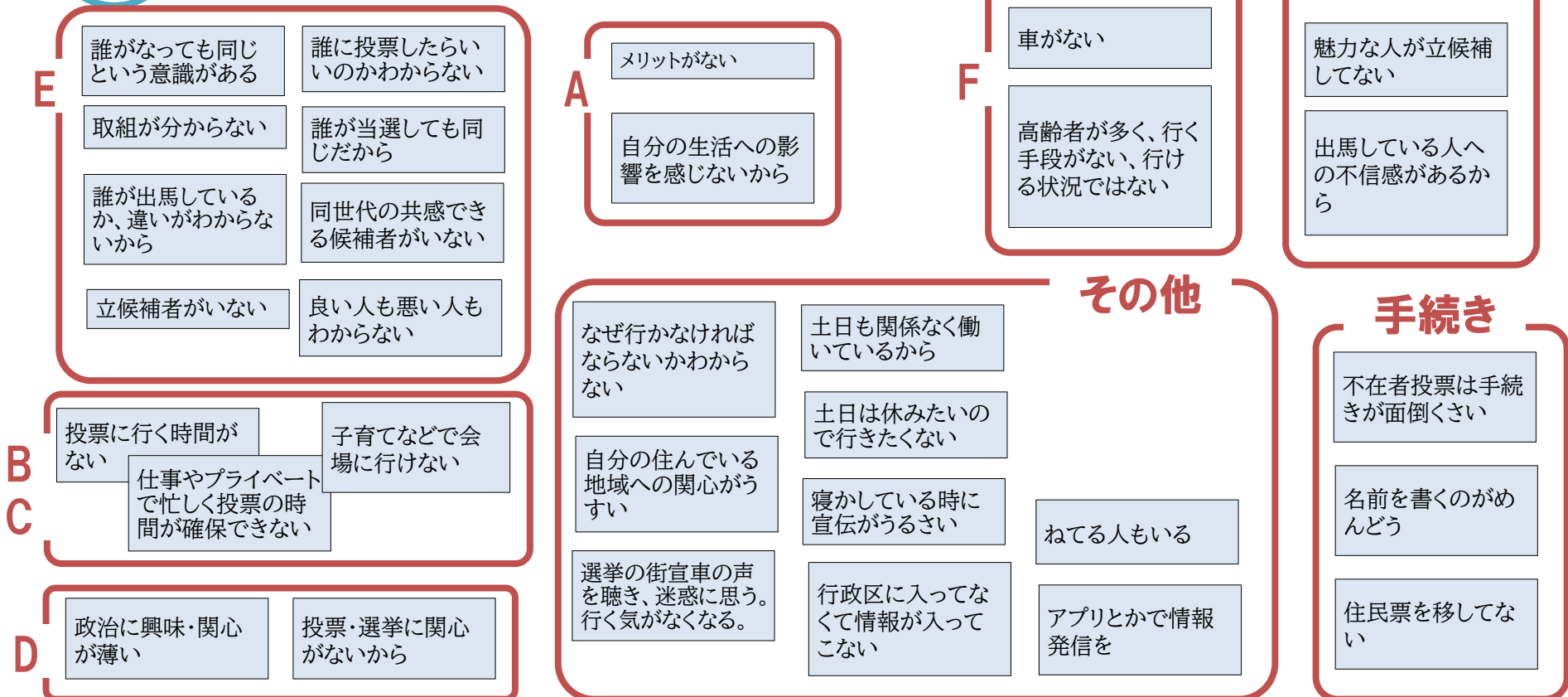
↑割引券

STEP 3 投票率向上の取り組み
班の提案

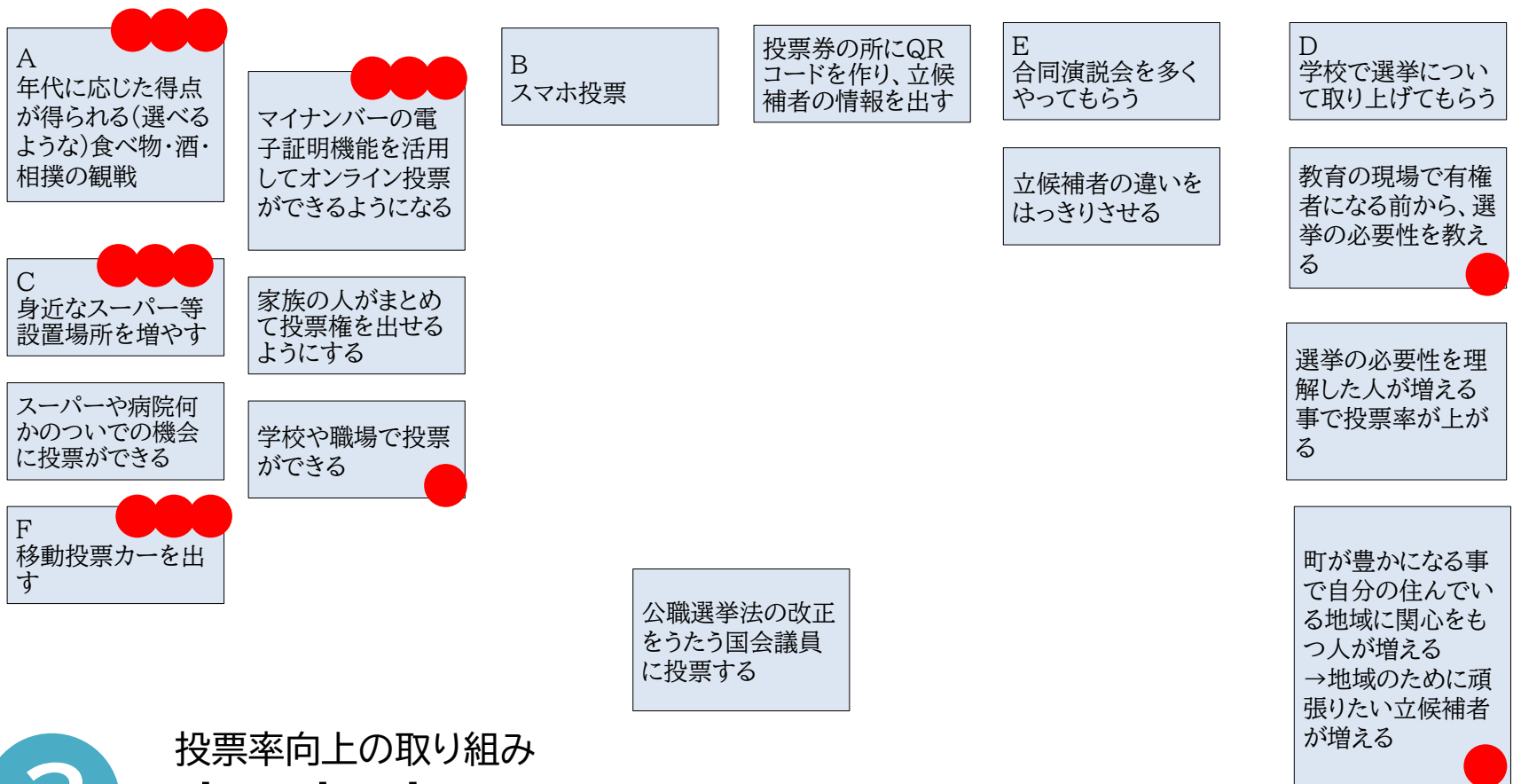
まとめサイトの作成と消費税軽減

めんどくさい人たちに対して、目に見えるメリットと分かりやすい情報収集が重要なため。

STEP 1 投票に行かない人はなぜ、投票に行かないの？



STEP 2 投票に行く人、こうすれば増えるかも！？ 投票率向上のアイデア



STEP 3 投票率向上の取り組み 班の提案

移動手段・時間の確保が難しい為、移動投票カーや身近な場所への投票所の設置をお願いいたします。

STEP

1

投票に行かない人は

なぜ、投票に行かないの？

アクセスの問題

投票所が自宅から遠い

面倒臭い

投票所に行くのがめんどくさい

面倒くさい

時間が無い

忙しい

投票に行くための移動手段がない

精神的身体的に無理

候補者情報不足

各候補者のマニフェストが不明確

候補者の情報が分からない

メディアによる情報が良くない

投票することのメリットが見えづらい

広告が足りない(若者向けの)

政治への関心

政治に関心がない

関心がないから手間に感じる

自分は関係ないイベントだと思っている

「誰に投票しても一緒」という考え方

1人の投票が影響あるのか？

みんな行かないから

投票というイベントの魅力のなさ

インセンティブがない

投票所の雰囲気暗すぎ

選挙カーに対するマイナスイメージ

親世代からの押しつけ

STEP

2

投票に行く人、こうすれば増えるかも！？

投票率向上のアイデア

アクセス問題

ネット活用(候補者情報、投票含める)

ドライブスルー投票

コンビニで投票できるようにする

職場投票

期日前投票BOXをスーパー等必ずアクセスする場所に設置

候補者情報の共有方法

候補者情報をネットで配信(政見放送みたいに読み上げるのは×)

明るい広告を(女性向け)

マニフェストもっと大々的に

町長の分刻みの投票所かけ回り、握手のサービス(日時は事前通知)

議員さんが阿見町民の声に叶えた事のアピール

政治への関心

投票することによって具体的に自分の生活の質がどう変わってくるか

日常町内に居る、動いている割合は女性だから何か興味わく

議員さん一人一人の頑張り活動アピール広告を増やす

異例の20代議員を出して若者の関心を引く

イベントとしての魅力

抽選で阿見産の美味しい物が当たる

人が集まるイベントの開催(二所ノ関部屋など)

その地区の旬の青果を一人ひとつずつ配る

地域の飲食店のアピール件投票をイベントとして盛り上げる

アメリカのように家族、行政で盛り上がるイベントに

人気のインフルエンサーを活用(若者向け)

利便性

忙しくいけない家族分を代理でまとめて投票する

投票所 筆記じゃなくタッチパネル(固いセキュリティ)

STEP

3

投票率向上の取り組み

班の提案

アメリカのように投票をイベントとして楽しむ
→若い人が好きそうな有名人を呼ぶ

STEP 1
内部

投票に行かない人は
なぜ、投票に行かないの？

外部

情報不足

- 自分の関心がある事を優先したい
- 選挙の争点と自分の課題が違いすぎる
- 行かなくても結果は目に見えている
- 政策への理解不足
- 誰に投票して良いのかわからない(決められない)

メリットがない

- 投票にメリットを感じない
- メリットもデメリットもないから

効果が無い

- 投票しても何も変わらないと思っている
- 選挙自体意味がない
- 投票しても効果がない
- 必ず行かなくても良いから

物理的問題

- 天候が雨や強い風なので
- 外国人なのでわからない
- 忙しいので行けない
- 足が悪い 体が不自由
- 投票に行く時間がない
- まわりに行く人がいない(流されている)

候補者問題

- 候補者を知らない
- 考えの合う候補がない
- 立候補者が毎回同じ顔触れ
- 候補者が少ない(選べない)
- 自分のやりたいことと選挙の内容が合わない

関心がない

- 社会に対する関心がうすい
- 投票所に行くのが面倒
- めんどろうだ
- 関心がない
- あまり楽しいものではない

投票所問題

- 投票場所が遠い
- 学生で都に住んでおり投票はがきが来ているのが知らなかった

STEP 2

投票に行く人、こうすれば増えるかも！？
投票率向上のアイデア //

具体的内容 2

① メリット・デメリット

- 行政と地域内店舗との連携でメリットを付与させる
- 投票に来てくれた人には、阿見町商品券 例えば500円もらえる
- 罰則を設ける 行かない人から罰金を取る
- 投票しなかった人は住民税例えば500円上乘せされる

② 関心を高める

- 知名度(投票日)アナウンス ex.二所ノ関部屋
- 公共広告等で選挙の訴求
- 多方面のメディア活用(インターネット・TV・ラジオ・新聞・その他)

③ 具体的内容 1

- 代理投票 目が見えない人の為の投票を代理者に行ってもらう
- スマホやインターネットによる電子遠隔投票どこにいても投票できる
- 投票手段改善 オンライン

④ 具体的内容 2

- 投票機会のUP (期日前)場所の追加 ex.SC
- 投票日は巡回バスを出す
- 投票所を多く設置する

候補者

- 候補者の情報(サイト)を一元化
- 候補者の情報公開 同じ問いに関する回答一覧を出す
- 候補者間のディベート
- 公約の採点(特に地方)

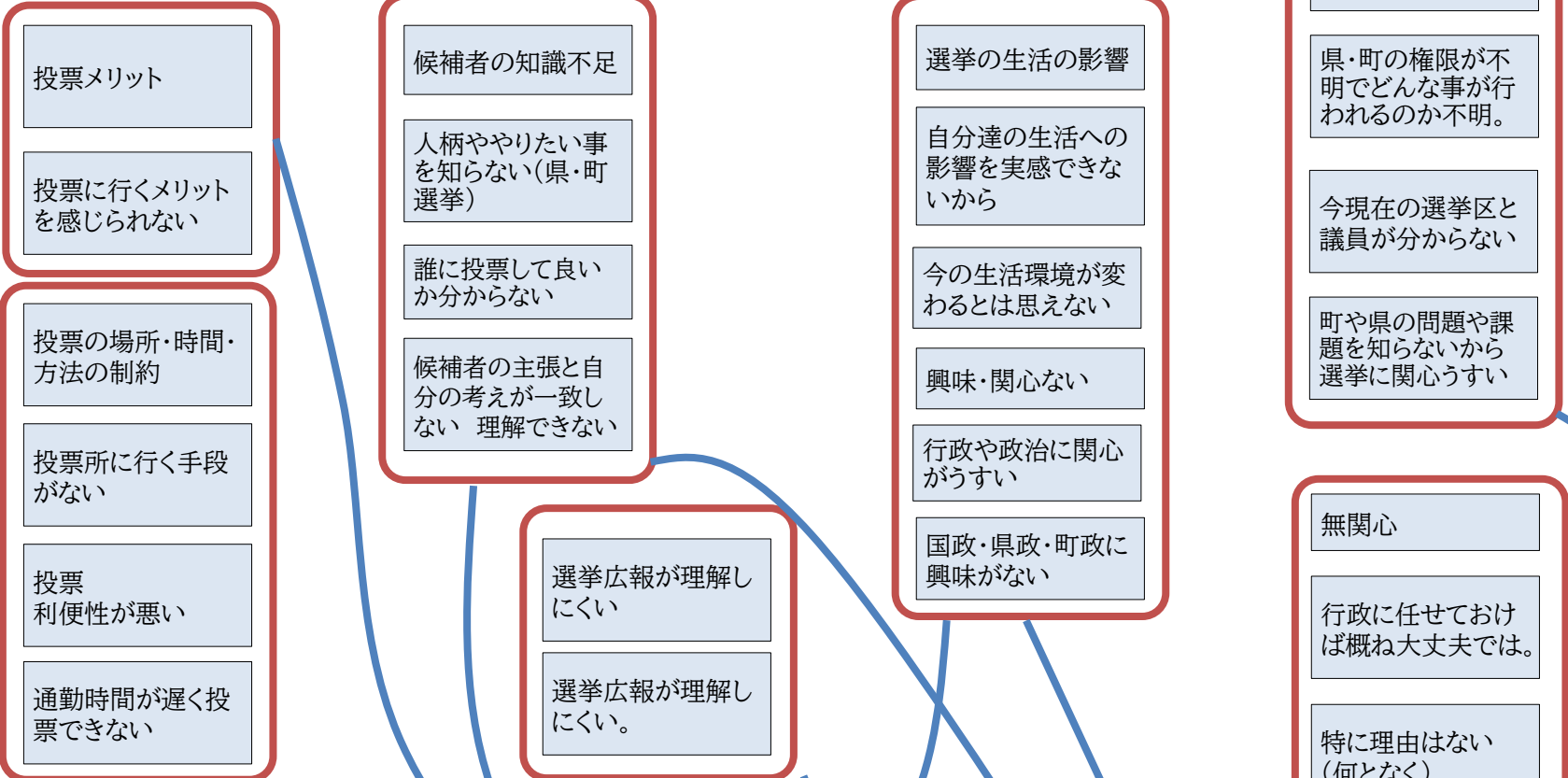
STEP 3

投票率向上の取り組み
班の提案

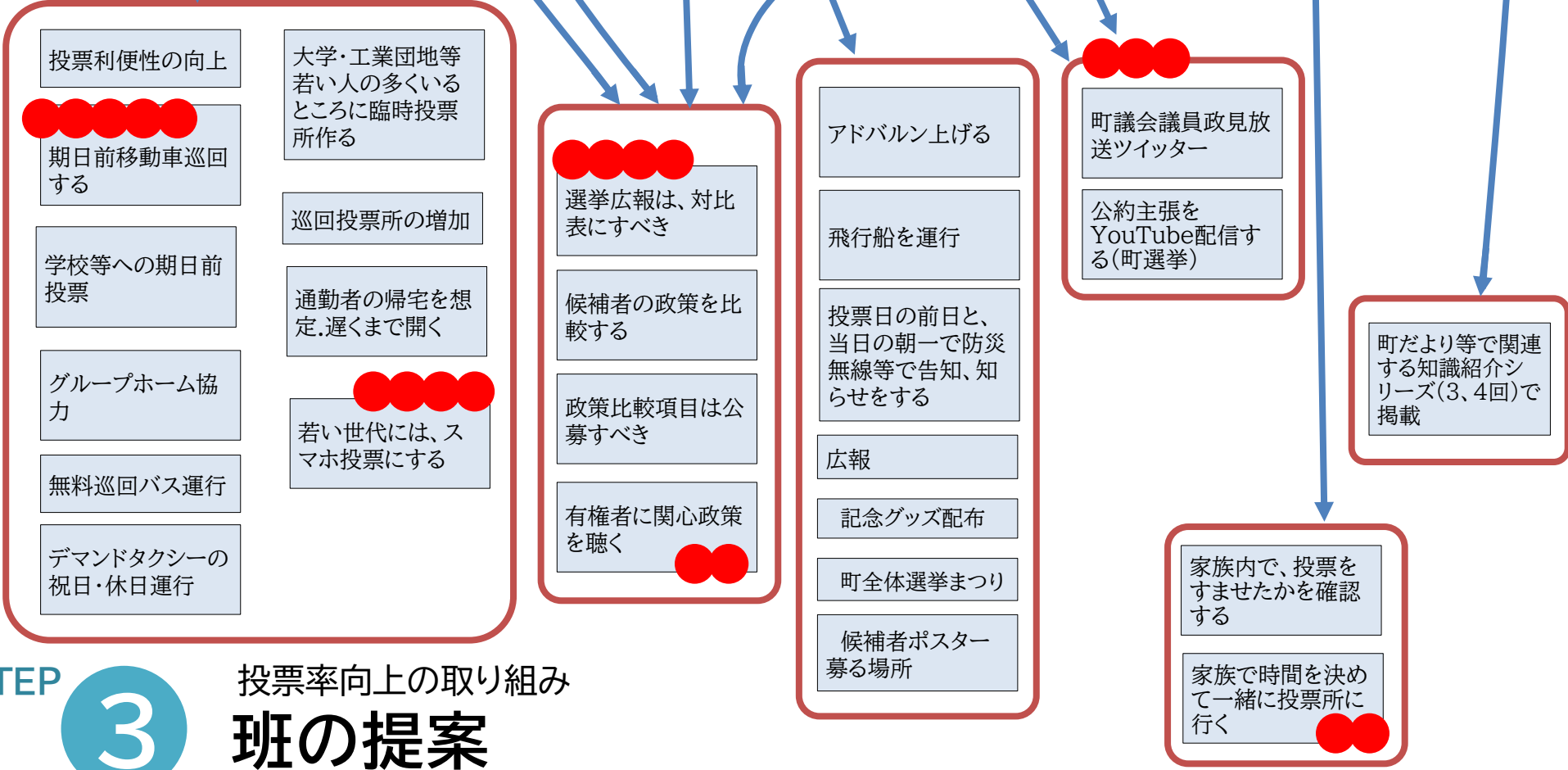
関心UP→投票率アップのサイクルをつくる

- ①インセンティブの導入
- ②投票機会の拡大
- ③候補者チェックの仕組み作り

STEP 1 投票に行かない人はなぜ、投票に行かないの？



STEP 2 投票に行く人、こうすれば増えるかも！？ 投票率向上のアイデア



STEP 3 投票率向上の取り組み 班の提案

- ・ 期日前移動投票車を巡回する
- ・ 若い世代には、スマホ投票を可能にする
- ・ 選挙広報は、対比表にする